

～ 豊かで美しい里海・瀬戸内海と

やさしい里山に囲まれた高松 ～

第 2 回 議会報告会 報告書



平成29年4月22日（土）開催

高松市議会

議会報告会プロジェクトチームメンバー（16人）

議会運営委員会			備 考
1	委員長	森川 輝男	リーダー
2	副委員長	春田 敬司	サブリーダー
総務消防常任委員会			
3	委員長	神内 茂樹	
4	副委員長	竹内 俊彦	
教育民生常任委員会			
5	委員長	大山 高子	幹事長
6	副委員長	坂下 且人	
経済環境常任委員会			
7	委員長	大見 昌弘	
8	副委員長	中西 俊介	
建設水道常任委員会			
9	委員長	佐藤 好邦	
10	副委員長	川崎 政信	
新病院等整備特別委員会			
11	委員長	小比賀 勝博	
総合交通対策特別委員会			
12	委員長	二川 浩三	
総合防災対策特別委員会			
13	委員長	大浦 澄子	
各党派幹事長			
14	自民党議員会	中村 順一	
15	同志会	辻 正雄	
(再掲)	公明党議員会	大山 高子	
16	市民フォーラム21	大西 智	

当日の担当者（12人）

会場設営・撤去・誘導班（4名） 会場の準備・撤去・会場内誘導係			備 考
1	総務消防常任委員会	中 村 秀 三	
2	教育民生常任委員会	造 田 正 彦	
3	経済環境常任委員会	太 田 安由美	
4	建設水道常任委員会	富 野 和 憲	
総務班（4名） 受付係・マイク係			
1	総務消防常任委員会	植 田 真 紀	
2	教育民生常任委員会	田 井 久留美	
3	経済環境常任委員会	橋 本 浩 之	
4	建設水道常任委員会	杉 本 勝 利	
広報班（4名） 記録係・写真係（議会報告会結果報告書の作成を含む）			
1	総務消防常任委員会	十 川 信 孝	
2	教育民生常任委員会	白 石 義 人	
3	経済環境常任委員会	中 村 伸 一	
4	建設水道常任委員会	藤 沢 やよい	

1 はじめに

高松市議会では、平成 27 年 4 月に高松市議会基本条例を施行し、議会改革を進める中で初めてとなる議会報告会を、平成 28 年 4 月 24 日（日）に市役所 13 階大会議室で開催し、今回の第 2 回目の議会報告会は、会場を交通結節点である瓦町 FLAG8 階「IKODE 瓦町」に変えて平成 29 年 4 月 22 日に開催しました。

この議会報告会は、議会基本条例の第 15 条に、議会は、議会活動について市民等に対し報告するとともに、政策形成に関する意見交換を行う場「議会報告会」を設け、情報提供及び情報共有に努めなければならないと位置づけされているものです。

今回の議会報告会も第 1 回目と同様、議会運営委員会を初め、各常任委員会の正副委員長、各特別委員会の委員長、及び各会派幹事長の 16 名の議員で構成する議会報告会プロジェクトチームが中心となり、プロジェクト会議を都合 2 回開催して、当日報告する重要事業の内容や資料作成のほか、役割分担など具体の協議を行いました。

議会報告会当日は、40 名全議員参加のもと、約 63 名の市民が参加し、まず、議長からの挨拶、続いて、議会運営委員長から、これまでの議会改革の取り組みの報告、また、各常任委員会・特別委員会の正副委員長等による 3 月定例会及び所管事務調査の報告の後、参加者から質疑や要望等を受け、閉会となりました。

また、当日参加できない方にも、議会報告会の模様をインターネット動画共有サイト「U STREAM」でライブ配信するとともに、現在、市議会のホームページから録画配信をしています。

なお、今回で 2 回目となった議会報告会での参加者からの御意見等を踏まえ、今後もより一層、市民に開かれた議会となるよう努めてまいります。



2 議会報告会の概要

- (1) 日時 平成 29 年 4 月 22 日（土）
午前 10 時 30 分～午後 0 時 30 分
- (2) 場所 瓦町 FLAG8 階「IKODE 瓦町」大会議室 1・2
- (3) 内容
 - ① 開会
 - ② 議長挨拶
 - ③ これまでの議会改革の取り組み
議会運営委員会
 - ④ 各常任委員会・特別委員会からの 3 月定例会の報告
 - 総務消防常任委員会
 - ・本市の財政状況について
 - ・屋島活性化推進事業について
 - ・広報たかまつについて
 - ・所管事務調査「選挙の投票率向上について」
 - 教育民生常任委員会
 - ・小・中学校トイレ整備事業について
 - ・待機児童について
 - ・放課後児童クラブ事業について
 - ・病院の医師確保について
 - ・所管事務調査「子供の読書活動の推進について」
 - 経済環境常任委員会
 - ・海外誘客促進事業について
 - ・屋島競技場整備事業について
 - ・衛生センター管理・し尿処理施設跡地利用事業について
 - ・西部クリーンセンター大規模改修事業について
 - ・所管事務調査「持続可能な観光の推進について」
 - 建設水道常任委員会
 - ・レンタサイクル事業について
 - ・道路の維持管理について
 - ・香川県水道広域化推進事業について
 - ・所管事務調査「県内水道事業の広域化に伴う下水道事業の運営体制について」
 - 新病院等整備特別委員会
 - ・3 月定例会の審査状況について
 - 総合交通対策特別委員会
 - ・3 月定例会の審査状況について
 - 総合防災対策特別委員会
 - ・3 月定例会の審査状況について
 - ⑤ 質疑応答
 - ⑥ 閉会
- (4) 参加者 市民 63 名、議員 40 名、事務局 9 名



3 議会報告会での質疑応答の要旨及び回答（Q：質問 A：答弁 R：要望）

Q 全国的に投票率が下がっている。高校生などの若者に対して、政治に対する熱意と、選挙によってどれだけ政治が変わるのか。また、市政がどれだけ良くなるのかを伝えるべきだと思う。

A 神内総務消防常任委員長 選挙については、非常に重要だと考えており、投票率の低下も認識している。昨年度の所管事務調査において、投票率の向上に向けて議論を重ね、共通投票所の設置、交通弱者に対する移動支援、主権者教育の取り組み強化などを当局に対し提言した。今後も当局と協議するとともに、要望していきたい。

Q 私は、市議会の議会改革が進んでいるとは思っていない。行事等があった際、議員席を設けているのに、空席が目立つのは、議員1人1人の認識が不足しているためではないのか。また、4年続けて財政赤字であるのに、修正案が出ていない。民主主義では、少数意見にも意義があるので、検討していただきたい。さらに、議員の質問を1年間で2回までに制限していることは、はずかしいことだと思う。

また、政務活動費は、社会通念上、精算払いが当然だと思うので検討してほしい。

A 森川議会運営委員長 政務活動費については、条例・規則に基づき支給し、議員1人当たり月額10万円・年間120万円の交付を受けており、運用指針に沿って使用することとしている。また、昨年11月の議会運営委員会で、使途の透明性を高めるため、28年度の交付分から、本年8月1日に、ホームページ上で、領収書類等を含め、収支報告書を公開することとしている。

また、本年3月には、政務活動とそれ以外の活動との区分が明確でない経費に係る政務活動費の充当率を、利用額の2分の1以内とする項目をふやすなど、使途の厳格性を高め、使途基準運用指針の見直しも行ったところである。今後とも政務活動費の使途のあり方など、継続して議論し、画一的な運用が図れるよう努めていきたい。

A 岡下議長 議会では、政務活動費を政務活動のために使っているかどうかを議論しており、透明性を高め、市民に対する説明責任を果たすために協議している。後払いについては、今後の課題であると思っている。



R 市の問題は多岐に渡るが、視点や理念が見えてこない。少子高齢化で今後、財政状況が厳しくなる中、優先順位をつけて取り組む必要があると思う。

また、瓦町F L A Gの駐車料金について、三越は買い物ですれば3時間無料だが、ここは50分しか無料にならない。私が客の立場なら2度と来ない。空きテナントが目立っているのも、そういった原因があると思う。市民の立場にたった視点で、今後、議会運営に努めていただきたい。



Q 広報紙について、自治会単位で配布しているが、自治会加入率が半分なので、半分の世帯にしか配布されていないことになるが、これをどうするのか。また、何世帯分、印刷しているのか。県の広報紙や選挙公報は、業者を通じて、全戸配布されていると思う。

また、若い世代は自治会に入っていないので、学校を通じて配布するなど、いろいろな方法を考えていただきたい。

A 神内総務消防常任委員長 広報紙は月2回発行し、配布方法は、基本的に自治会役員に送る方法と、コミュニティセンターや出張所に設置し取りに来てもらっているが、御指摘のように、全世帯に届いていない。自治会加入のメリットとして、自治会を通じて配布しているが、自治会加入率の状況を踏まえ、議会としても、当局に対して、いろいろな方法を考えるよう要望している。

Q 本市の財政は厳しい。そういう中で、合併特例債などの期限が迫っているという理由で、急いで箱物をつくっているが、莫大な金額がかかっているし、完成後も維持管理費がかかる。将来的に市民税を上げ、市民に負担をかけるのか。議会としても、少数意見を大切に、市民に対する説明や情報公開をしてほしい。また、この報告会も、もっと時間を取って、参加者みんなが意見や質疑応答ができなければ、セレモニーのような議会報告会になるので、そういうものであれば、やめるべきだと思う。

A 岡下議長 大型公共事業の説明もあったが、市民が関心のある話題などを中心に報告している。また、合併特例債については、合併協議において、香川病院と市民病院を統合して仏生山に新病院をつくるなど、各市町と約束事があるものの、今後、維持管理費も必要となることから、議会としても、例えば、南部地域スポーツ施設(仮称)整備において、従来の計画より規模を縮小し、できるだけ費用がかからないよう審議

した。

また、報告会に対する貴重な意見をいただいたので、次回開催に向けて改善し、市民と接する議会報告会としたい。

Q 資料2の図には、各種予算の決定と市長から議会に対する政策提案・提言が抜けている。また、一般質問の回数制限について、本市では、現在は2回までとなっているが、年4回定例会があるのに2回までとは納得できない。報道によると、認めない理由は、質問の不許可は議会内部のことであり、国民の権利に直接的な影響を与えるものとは認められないとあった。しかし、国民の権利を、市民の権利に置きかえると、非常に重要な問題になる。

市民は選挙を通じて、議会において議論を行う代弁者として議員を選んでいる。民主制の議会であれば、少数意見にも耳を傾けるべきであり、少数意見・与党・野党問わずに、年2回では足りない議員もいると思うので、一般質問の回数制限については、再度、見直してほしい。

A 春田議会運営副委員長 図にある議論・審査のところ、意思決定をしているものとして見ていただきたい。

A 森川議会運営委員長 本市議会では、現在40名の議員がおり、全員が一般質問を行うと、会議時間上、たいへんなことになる。

この件については、議会運営委員会で協議し、議会では時間的制約があり年2回が適当という意見が大半である。そういう中で、回数制限をなくしてほしいと訴える議員もいる。議会は、秩序正しく運営し、公平な立場で意見を述べ、提案することが重要だと考えているので、この件については、現在、議会運営委員会で協議しているが、今後の課題としたい。

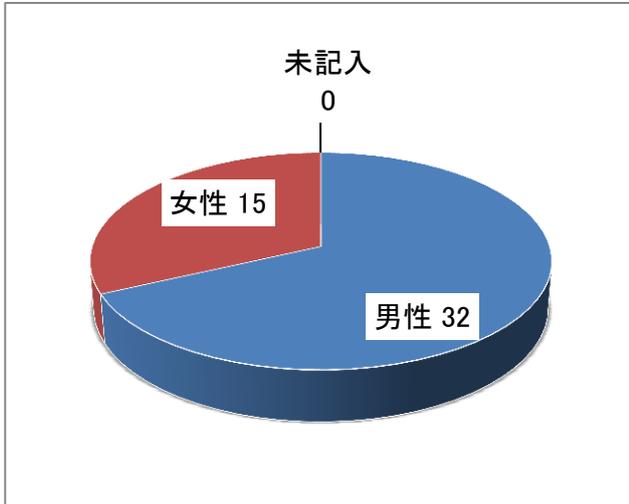


4 アンケート調査結果

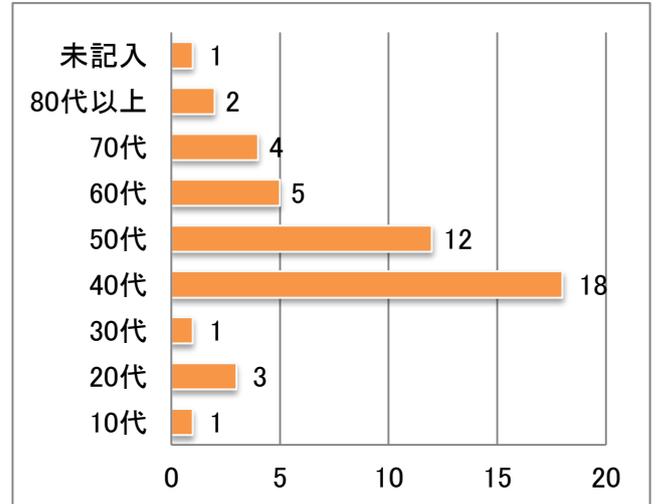
アンケート回収枚数：47枚（参加者63名）

アンケート回収率：74.6%

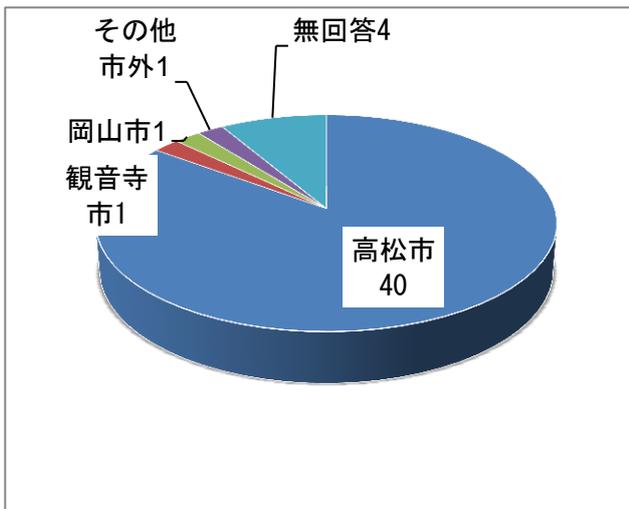
○性別 (人)



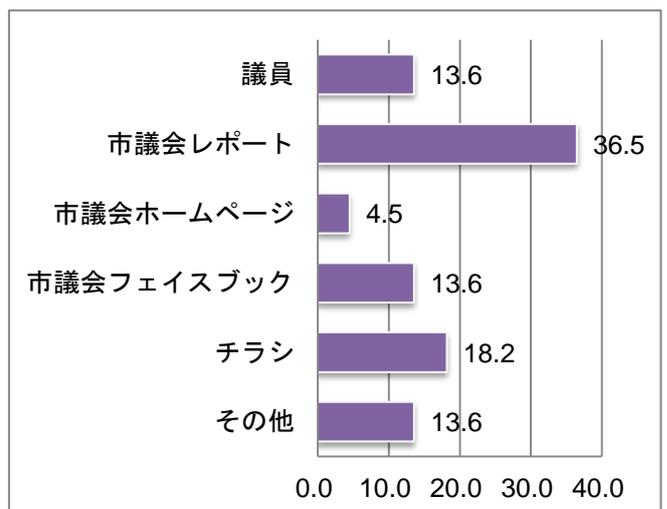
○年齢 (人)



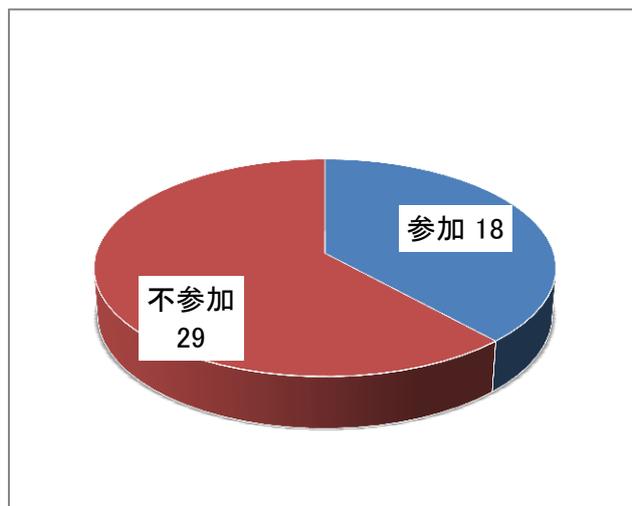
○居住地域 (人)



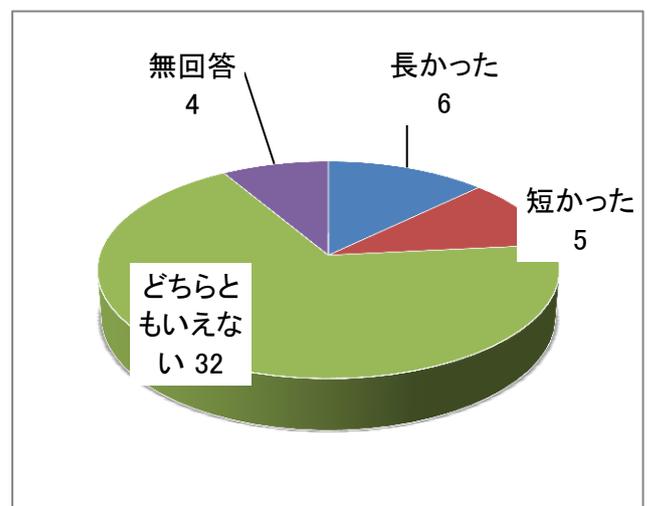
○開催情報入手方法 (%)



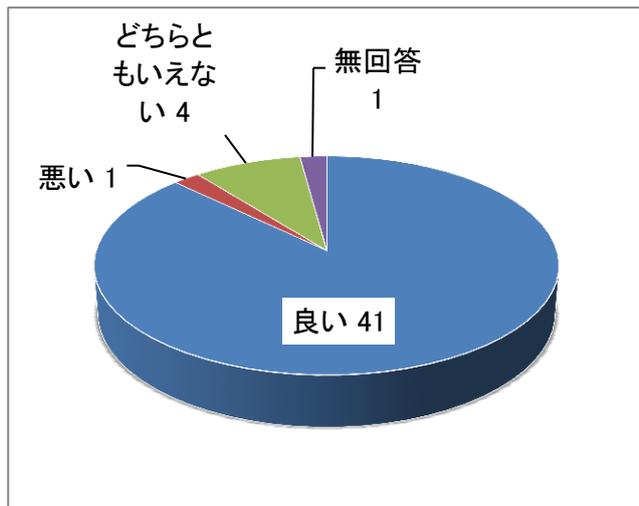
○第1回議会報告会の参加 (人)



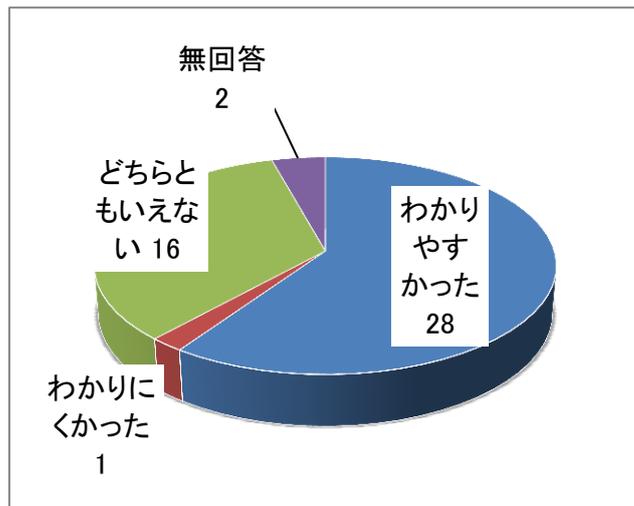
○開催時間の長さ (人)



○開催場所 (人)



○報告会の内容 (人)



報告会の内容がわかりにくかった理由（集約）

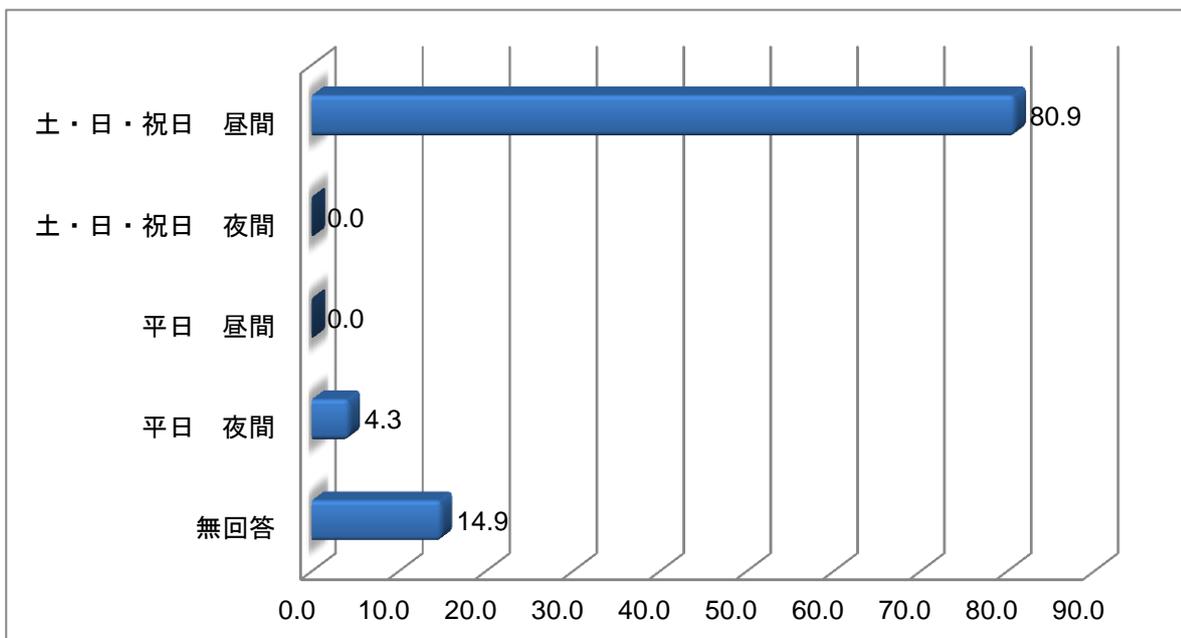
(1) 資料等に対する意見

- ・説明に沿った資料やスライドを準備してほしい。

(2) 報告者に対する意見

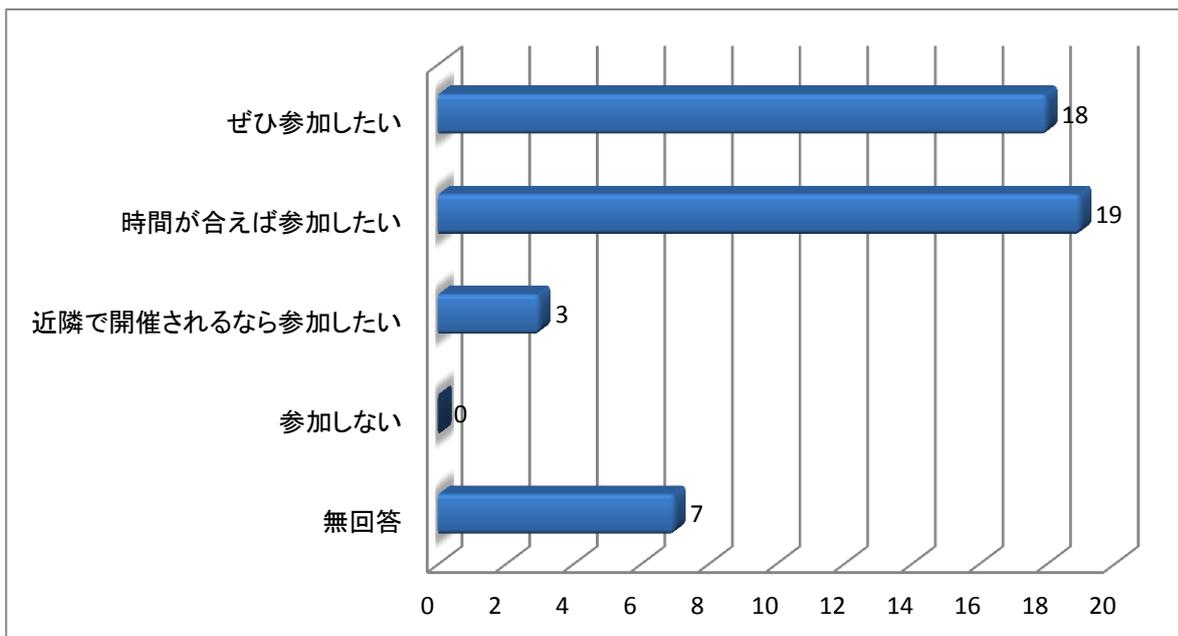
- ・説明が網羅的になることは仕方ないが、退屈であった。
- ・市民に対し、わかりやすく情報提供し、情報収集を図ることが大切である。市民にもう少し説明して理解を得る努力が求められる。
- ・セレモニー的な報告会であり、総花的な報告で中身の説明が乏しい。

○次回の議会報告会の開催日時 (%)



○今後、議会報告会が開催された場合の参加の有無

(人)



○議会報告会の感想や議会に対する意見等（集約）

(1) 感想

- 幅広い項目の取り組みや政策について、広く浅く知ることができてよかった。各委員会のさらに深い内容について、個人的に調べてみたいと思った。
- これからも市議会がわかりやすいものになって、たくさんの市民が関心をもってほしい。
- 参考になりました。ありがとう。気合を入れて高松市をよくしてほしい。
- 委員会のことがよくわかり、勉強になった。
- 議員の取り組みについての概要や成果がよく伝わった。
- 市民にとって身近な課題を中心に取り上げているのでよかった。
- 前回に比べ、内容が向上したと感じた。
- 市議会がどのような取り組みに力を入れているのかを知ることができ、いい経験となった。今後も議会報告会を継続し、1年に複数回開催すれば、市民への理解が深まると思う。
- 医師不足に関心があったので、興味深く聞かせてもらった。
- 市議会がより身近に感じられた。
- エンターテインメント性を持たせ、おもしろく楽しくしないとつまらない。
- 委員会ごとのイメージVTRを放送するとか、大型ショッピングストア等で開催するなど、多くの市民に参加してもらえるよう考える必要があり、とりあえずやっていますということでは、市民の地方自治や地域コミュニティに対する関心を喚起するまでに至らない。
- 質疑応答で、前向きな質問はいいが、感情的になる場面があったので中止するほうがよい。

(2) 意見

① 開催について

- 報告会を委員会ごとに行い、もっと詳しい説明が聞きたい。
- 議会報告会のPRが不足している。また、1カ所だけでなく2～3カ所するほうがよい。

② 運営について

- スーツ・ネクタイを禁止してもらいたい。
- 議会報告会にかわる名称をつける。
- スクリーンが小さすぎる。
- 説明者それぞれの個性があっておもしろいが、早口の説明があった。
- 説明者の元気がなく、棒読みであった。
- 予算、事業の説明は簡潔にし、議会からの意見や要望について詳しく説明してほしい。また、1年を通じた議会活動を説明してほしい。
- 質疑応答については、事前に文書で出してもらってはどうか。事前に目を通して整理しておくのと効率的な運営ができるのではないか。
- 資料で代替し、委員長の報告は、幾つかのポイントに絞ったほうがよい。
- 委員会単位の報告では説明が表面的になっている。課題を絞った報告がよい。
- 報告よりも質疑応答をメインにしてほしい。
- 質疑応答の時間をもっと取ってほしい。

(3) 市政等の要望

- 車道の舗装も必要だが、歩道や自転車道の舗装もしてもらいたい。特に、児童生徒が使用するところを整備してもらいたい。県が担当する部分は県議会議員へも要望されたい。
- 過疎地域の現状を把握し、災害対策や資源活用に向け、積極的に取り組まれたい。
- 議員の政務活動費について、関係書類の公開に目が向けられているが、用途区分を設け、余った場合は返金するほうがよい。

(4) 質問・回答

- ① 選挙の投票率に関して、若者が住民票を移していないことが投票率低下の一因だと思うが、その対策はあるのか。

《回答》

若者の住民票異動を促進するためには、若者自身が、その必要性を正しく理解できるよう、大学等に配布する啓発チラシや本市広報媒体に、引っ越し後の投票方法等について掲載するなど、市外から就学する大学生等に対し、住民票異動の必要性についての理解が深まるよう、効果的な周知・啓発に努めていきたい。(市民課・選挙課)

- ② 「広報たかまつ」は全世帯数分を印刷しているのか。また、学校にお願いし、生徒を通じて配布してはどうか。

《回答》

「広報たかまつ」は、原則、各地区の自治会や一定程度のグループの代表者に配布をお願いしているが、自治会加入率の低下に伴い、今年度の印刷部数は、1回当たり約14万5,000部で、全世帯数には配布できていない。

また、できる限り多くの世帯へ広報を配布できるよう、より効果的・効率的な配布方法を検討していきたい。（広聴広報課）

